

平成31(2019)年度
厚木市当初予算



全国に誇れる**市民力**と**大きな志**をもって、
将来に向けたまちづくりを進める

あつぎの
元気大志
予算2019

当初予算の概要

予算総額

1,465億8,368万4千円 (0.4%減)

一般会計 (過去最大) 7年連続でプラス予算

863億円 (0.1%・1億円 増)



投資的経費 98億円
(直近15年で2番目の規模)

特別会計 国民健康保険事業・公共下水道事業の減

474億7,600万2千円 (1.9%減)

公営企業会計

128億768万2千円 (1.6%増)



徹底した行財政改革＋投資・貯蓄

“今日的課題解決と次世代への先行投資を実現するための財源調達”

約**14**億円



人件費の削減
経常経費の見直し
公債費の削減

効果額42億円

削減

確保



約**28**億円

国・県補助金の確保
広告掲載事業の拡大
収納対策の強化

総額
863億

投資

貯蓄

未来のまちづくりへ
財源確保に向けた
先行投資など、
地方債を効果的に活用

約**75**億円



今後の財政需要など
に対し計画的に活用

標準財政規模比 **23.2%**



約**125**億円



6つの重点プロジェクト

(将来を見据えた重点プロジェクト)

①

人口の将来展望を実現する

地方創生

②

誰もがいきいきと生活できる

地域包括ケア社会

③

将来にわたって活力あるまちであり続けるための

都市基盤整備

④

防災・減災対策

の強化による安心・安全

⑤

2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機としたレガシーの創出

(市民ニーズによる重点プロジェクト)

⑥

中心市街地

の魅力や
利便性の向上



あつぎの元気**大志**予算 2019

重点プロジェクト別の 主要事業

人口の将来展望を実現する 地方創生の推進

1

NEW 待機児童対策

放課後児童クラブ施設整備補助金

待機児童の解消を図るため、待機児童が増加している清水・妻田小学校区のエリアに民間の児童クラブを開所する事業者の施設整備等に要する経費の一部を補助。



2

NEW

保育士応援・サポート事業

市内認可保育所等に就労している保育士等に助成金「あつぎ手当」を支給。また、保育士確保の一環として、認可保育所の運営法人等に対し、保育人材の雇用等に要する経費の一部を補助。

【イメージ】

給与明細書

基本給	〇〇〇〇〇〇円
時間外手当	〇〇〇〇円
あつぎ手当	60,000円
：	：
支給額計	〇〇〇〇〇〇円

保育士応援手当助成金（あつぎ手当） 一律 6 万円

保育士雇用サポート事業補助金

（認可保育所）上限75万円（小規模保育施設）上限60万円



3

NEW

教職員の働き方改革関連事業

出退勤管理

電話音声応答



多忙化・長時間化が問題となっている教職員の健康管理と働き方への意識改革を図り、教職員が児童・生徒一人一人と向き合う時間を確保。また、部活動指導員をモデル校（2校）に配置し、顧問教員の負担を軽減。

人口の将来展望を実現する 地方創生の推進

4

拡充

小・中学校トイレ改修事業 **総仕上げ**



児童・生徒が安全で快適な教育環境で学校生活を送れるよう、重点的に小・中学校のトイレ改修を促進。（小学校7棟・中学校4棟を改修）

2020年度100%完了（予定）

2020年度
100%

見えやすい入口正面のPR看板



▼厚木六勝『雨降ノ晴雪』

5

NEW

観光プロモーション事業

各種メディアを始め、イベントやキャンペーンなどを通じ、市の魅力を伝え誘客を図ることで、交流人口を増やし、地域の活性化を促進。



観光プロモーション動画作成



小田急電鉄と連携した観光プロモーション



大山ケーブル駅への電光看板の設置

6

NEW

（仮称）渡辺華山展 プロジェクト事業



新たに開館したあつぎ郷土博物館が具備する高規格の企画展示室を活用した（仮称）渡辺華山展の実施に向けたプロジェクトをスタート。

2020年度開催（予定）



田原市博物館所蔵 渡辺華山像(椿 椿山画)▲

誰もがいきいきと生活できる

地域包括ケア社会の実現

1

NEW 拡充 厚木市らしい地域移動システムを検証！

地域公共交通等対策事業

タクシー事業者が購入するユニバーサルデザインタクシーの費用の一部を補助。また、鳶尾地区、まつかげ台・みはる野地区でのジャンボタクシーを使用した無償による実証実験の結果を踏まえ、今後の導入に向けたシミュレーションを目的とした実証運行を実施。

UDタクシー補助額 1台当たり20万円



2

高齢者などの負担軽減とごみ減量化を検証

ごみ減量化・資源化推進事業

家庭から出るごみの減量化・資源化の更なる推進や地域包括ケア社会の実現に向けたごみ出し環境の改善を目指し、モデル地区（3地区）で戸別収集を試行し、新たな収集体制を検討。

戸別収集モデル地区

金田地区・まつかげ台地区・小野地区

戸別収集
モデル事業

NEW



誰もがいきいきと生活できる

地域包括ケア社会の実現

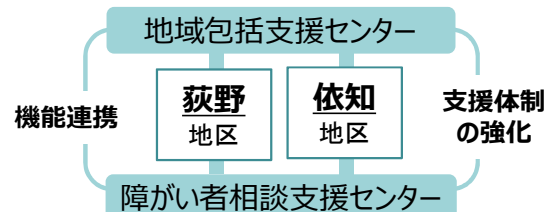
3

NEW

拡充

高齢者・障がい者支援関連事業

地域包括ケア社会の実現のため、荻野地区・依知地区それぞれの地域包括支援センターと障がい者相談支援センターの機能的連携による相談支援体制の強化、幼児期から生涯にわたる切れ目のない一貫した療育支援体制の確立、良質なサービス提供のため介護職や看護職等の人材確保を促進。



4

がん検診事業

がんの予防や早期発見のため、乳がんの施設検診において視触診にマンモグラフィー検査を加えて実施。

乳がん
マンモ検査

NEW



将来にわたって活力あるまちであり続けるための 都市基盤整備の推進

1 スマートインターチェンジ整備関連事業

総仕上げ



圏央道の有効活用や物流の効率化による地域経済の活性化を図るため、厚木PAにスマートICを整備するとともに、アクセス道路である相模川右岸堤防道路を再整備。

2020年度供用開始（予定）



森の里東土地区画整理A工区

H31.7月～操業開始
（予定）

H30.1月～
操業開始

A工区

2 人・自然・産業が響き合うまちづくり EChO CAMPUS (エコキャンパス) 森の里東土地区画整理関連事業



森の里東土地区画整理組合への支援を実施。
A工区は既に完成し、立地企業が操業中。引き続きB工区・C工区の整備完成に向けて支援を実施。

総仕上げ

A工区：企業操業及び建築中

1社：H30.1～操業開始

1社：H31.7～操業開始（予定）

B工区：2020年度整備完成（予定）

C工区：2023年度整備完成（予定）



森の里東土地区画整理C工区

C工区



森の里東土地区画整理B工区

B工区

将来にわたって活力あるまちであり続けるための 都市基盤整備の推進

NEW

3

酒井土地区画整理関連事業

産業系土地区画整理の事業化に伴い、（仮称）酒井土地区画整理組合に対する指導、助言及び支援を実施。

2024年度整備完成（予定）

2019年9月
組合設立（予定）

4

山際・山際北部土地区画整理関連事業

計画的かつ充実した都市基盤整備に向けて、土地区画整理の事業化を目指し、権利者組織に必要な支援を実施。

5

街路整備関連事業（環状3号線・本厚木下津古久線）



安全で快適な市民生活を確保し、体系的な交通ネットワークを構築するため、都市計画道路（厚木環状3号線・本厚木下津古久線）の整備を促進。

2年間で約20億円の投資

H30
9.9億

H31
9.9億

県内初
2年目

6

[公共用地取得事業特別会計]

厚木秦野道路用地取得事業（用地国債）

厚木秦野道路（国道246号バイパス）の早期の整備促進に向け、用地国債先行取得制度を活用し、事業用地を先行取得。

南部産業拠点（酒井地区）のイメージ



27ha

防災・減災対策の強化

による安心・安全の推進

1

NEW

指定避難所等対策関連事業

指定避難所の良好な生活環境を維持するため、小・中学校に非常電源設備を整備するほか、災害時に迅速・正確に避難することを目的に、指定緊急避難場所へ周知プレートを設置。

小・中学校31校に非常電源設備を整備



イメージ資料

2

NEW

防災対策関連事業

市民の防災意識高揚及び地域の更なる防災活動に結びつけることを目的に防災ポケットブック及び地区別防災マップを作成。

市民協働による地区別防災マップ作成は県内初！

防災ポケットブックのイメージ



全戸配布



防災カルテ(概要)

◆地域の概況
河川を除いた全てが市街化区域にあり、中心市街地は商業・業務機能が集積し、外縁部は住宅系。また、郊外の一部は工業系の土地利用となっている。市内外からの人口が集中するため、地震発生時には、大量の避難者・負傷者が発生する可能性がある。

◆災害履歴【主な災害履歴】1703年 元禄地震 1923年 関東大震災 1924年 関東大震災の余震
過去に発生した地震のうち、厚木市で大きな被害が記録されているのは、1703年の元禄地震、1923年の関東大震災、1924年の関東大震災の余震である。このうち、1924年の地震では、被害家屋のうち、関東大震災後の家屋の修理が十分でないことによるものが多くとされている。

◆地震被害想定
厚木北地区全域で、震度5弱～5強と想定される。
危険度及び所見
①人的危険度
②建物倒壊危険度
③火災・液状化危険度
④課題
⑤総合所見

◆洪水浸水被害想定
危険度及び所見
①人的危険度
②浸水危険度
③○○○○○
④課題

◆土砂災害被害想定
危険度及び所見
①人的危険度
②土砂災害危険度(土石流・がけ崩れ・地すべり)

3

NEW

災害時医療対策事業

災害時における人的被害を軽減するため、医療体制の強化を図ることを目的に、大型エアートント等の医療設備を厚木医師会に貸与。



地区別防災マップのイメージ

防災・減災対策の強化

による安心・安全の推進

4

NEW

小・中学校屋外AED設置事業



屋外活動中の児童・生徒の安心安全と、学校施設一般開放時の利用者の急病等に対応するため、各小中学校の屋外にAEDを設置。市立小・中学校全36校に設置

総仕上げ

屋外活動時

夜間開放時

災害時



5

[公共下水道事業特別会計]

公共下水道厚木排水区等浸水対策事業

局地的集中豪雨等に対して、本厚木駅周辺の厚木排水区における浸水被害を軽減するため、新たに厚木北地区に雨水貯留管の整備をスタート。また、引き続き、あさひ公園地下の雨水貯留施設を整備。

雨水貯留施設：2019年度完成（予定）

雨水貯留管：2022年度完成（予定）

NEW

総仕上げ

6

拡充

消防庁舎整備関連事業（南毛利・相川）



各種災害に迅速・的確に対応するため、消防・防災拠点である南毛利分署及び相川分署を移転整備。

2021年度完成（予定）



小学校のプール
約40杯分の雨水を貯留できる
あさひ公園地下の雨水貯留施設

2020年東京オリンピック・パラリンピック を契機としたレガシーの創出

1

オリンピック・パラリンピック支援推進事業

東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機に、スポーツ文化の振興、国際交流の推進、観光振興及びバリアフリーなどに取り組み、レガシー（遺産）を創出。

2

受入環境整備事業補助金

人材スキルアップ事業補助

外国語対応事業補助



観光関連事業者等を対象としたスキルアップ研修の実施や外国語による案内表示等に係る経費への支援を通じ、訪日外国人を始めとした観光客の受入環境の整備を図り、観光地としての魅力向上を促進。

3

市民スポーツ推進事業

あつぎスポーツアカデミー事業による、将来のトップアスリートを目指すジュニアの育成や指導者育成、日本体育大学との連携事業によるスポーツ人口の拡大等を促進。

4

英語教育推進事業

英語の習得・活用に意欲を持つ児童・生徒を育成するAKG（あつぎキッズガイド）プロジェクトなどを実施し、英語によるコミュニケーション能力を育む教育を推進。

NZバスケットボール協会とのキャンプ基本合意調印式の様子



市民ニーズによる重点プロジェクト

中心市街地の魅力や利便性の向上

1

NEW

拡充

中町第2-2地区周辺整備関連事業



新たな中央図書館、(仮称)こども未来館及び市庁舎の基本構想を盛り込んだ複合施設基本計画の策定や、設計者選定準備を実施。また、周辺の交通計画作成や市道A-5号線とA-358号線の交差点整備、都市計画道路中町北停車場線の整備計画の検討を実施。

2

本厚木駅南口地区市街地再開発関連事業

本厚木駅南口地区において、交通結節点の機能強化を図るとともに、魅力ある駅周辺の顔づくりを目指し、駅前広場の拡充整備や地下2階地上22階建てとなる再開発ビルの整備を促進。

2020年度完成(予定)



再開発ビル

構造等：RC造、地下2階地上22階建て
 延床面積：約24,400㎡・高さ 約85m
 主な用途：店舗、事務所、住宅(163戸)
 市営駐輪場(約600台)等

駅前広場

現況約3,460㎡を約4,270㎡に拡充整備



本厚木駅南口イメージ

市民ニーズによる重点プロジェクト

中心市街地の魅力や利便性の向上

3

拡充 自転車616台 バイク51台収容(予定)

総仕上げ

(仮称) 旭町2丁目自転車等駐車場整備事業

本厚木駅周辺の自転車等駐車場をバランスよく配置することで、より一層の利便性の向上を図るため、本厚木駅南部方面に新たな自転車等駐車場を整備。

2020年4月供用開始(予定)



自転車等駐車場整備イメージ

4

NEW

本厚木駅ホームドア設置事業補助金

本厚木駅における、ホームからの転落や列車との接触事故を防止し、安心・安全な利用環境等を確保するため、鉄道事業者が実施するホームドア設置工事費用の一部を補助。

2021年度使用開始(予定)



小田急線本厚木駅ホーム

2021年度(予定)

本厚木駅2・3番ホーム



2023年度(予定)

本厚木駅1・4番ホーム



ホームドアの設置イメージ

5

愛甲石田駅周辺整備関連事業 拡充

駅北口広場及び周辺道路の交通環境の改善に向けた整備構想等を策定するとともに、北口広場の拡張に向けた暫定整備を実施。

その他

あつぎ元気プランの着実な推進

1

拡充 市民の憩いやにぎわいを創る健康増進拠点の整備

ふれあいプラザ再整備事業

アドバイザー業務委託を実施するなど、PFI手法により事業を円滑に推進するとともに、基礎調査（地盤調査など）を実施。

2023年度完了（予定）



2

拡充 より質の高い給食サービスの提供に向けた施設の整備

中学校給食施設整備事業

新規用地の取得や特別目的会社（SPC）の選定、契約に向けたアドバイザー業務委託により、PFI事業を円滑に推進。

2022年度完了（予定）



3

NEW

マイタウンクラブリニューアル事業



現行サービスのトップページ

近年の情報通信環境、情報通信技術の動向、市民ニーズを踏まえ、公共施設の予約や講座・イベント等の申込みを行う、マイタウンクラブシステムの全面リニューアルを実施。

その他

あつぎ元気プランの着実な推進

4

NEW 新たなビジネスモデルの創出と耕作放棄地の再生

再生可能エネルギー推進事業費補助金

耕作放棄地の解消や農業経営の一助にもつながるソーラーシェアリングの設置者に対し、設置に係る費用の一部を補助。

補助額

太陽光発電出力 1 KW当たり 1 万円（上限20万円）



ソーラーシェアリング

農地に太陽光発電設備を設置し、発電事業と営農を両立して行うこと。



ソーラーシェアリングの設置イメージ

5

NEW 環境負荷を軽減し、地球温暖化を防止

公園灯LED化事業

総仕上げ

公園灯を設置している221公園の全ての灯具をLED化し、消費電力の抑制を図り、地球温暖化防止に寄与するとともに、ランニングコストを削減。

屋外LED化
の状況

H28年度

防犯灯
100%
LED化

H30~31年度

街路灯
100%
LED化

H31年度

公園灯
100%
LED化全ての
公園灯LED化
県内初

2019年度の 目玉事業

ハード事業

中心市街地の活性化と都市基盤整備

1

NEW

酒井土地区画整理事業

40,100千円



2

NEW

拡充

中町第2-2地区周辺整備事業

240,460千円



3

本厚木駅

南口地区市街地再開発事業

659,491千円



ソフト事業

防災・減災対策と待機児童ゼロ戦略

4

NEW

指定避難所等対策事業

35,600千円



5

NEW

待機児童対策

放課後児童クラブ施設整備補助金

13,100千円



あつぎの
元気**大志**
予算 2019